

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年03月11日

計画の名称	古都鎌倉の水環境を守る下水道整備計画												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	鎌倉市												
計画の目標	市街化区域の下水道整備はほぼ完了しているが、市域の約35%を占める市街化調整区域にも多くの市民が住み、観光名所・旧跡も数多く存在し、日頃から訪問客で賑わっている。こうした地域の下水道整備を充実させることによって、古都鎌倉に相応しい水環境の創出を図るとともに市街地における雨水整備の推進を図り、浸水被害の低減に努める。また、鎌倉処理区の下水道（汚水）事業を持続的に実施するために、地震津波対策と老朽化対策を併せた幹線管渠を再整備するための調査等の業務を実施する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	522	A	522	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道処理人口普及率を97.1%（H28）から97.3%（H32）へ増加させる。 下水道処理人口普及率 処理区域内人口（人）／行政区域内人口（人）	97%	97%	97%
2	下水道による都市浸水対策達成率を78.3%から（H28）から78.4%（H32）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 整備済区域面積（ha）／対象区域面積（ha）	78%	78%	78%
3	再整備幹線管渠の約62.7%の調査及び基本設計を行う。 再整備幹線管渠の調査・基本設計の実施率 調査・基本設計延長（m）／再整備幹線総延長（m）	0%	52%	63%
4	再整備幹線ポンプ場の基本設計を行う。 再整備幹線ポンプ場の基本設計の実施率 基本設計箇所数（箇所）／再整備ポンプ場箇所数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	管渠（ 污水）	新設	鎌倉山地区枝線整備事業	污水管 Φ200mm L=785m	鎌倉市	■	■	■	■	■	139		-
	A07-002	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	管渠（ 污水）	新設	深沢地区枝線整備事業	污水管 Φ200mm L=815m	鎌倉市	■	■	■	■	■	103		-
	A07-003	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	管渠（ 雨水）	新設	大船排水区雨水管渠等整備事業	関谷川排水区 雨水渠 Φ10 00~800mm L=500m	鎌倉市	■	■	■	■	■	75		-
	A07-004	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	管渠（ 污水）	新設	持続型下水道幹線再整備事業（管渠）	測量、土質調査、基本設計	鎌倉市		■	■	■		150		策定中
	A07-005	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	ポンプ 場	新設	持続型下水道幹線再整備事業（ポンプ場）	基本設計	鎌倉市				■	■	51		策定中
	A07-006	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	管渠（ 污水）	新設	下水道アクションプラン策定業務	下水道アクションプラン策定	鎌倉市		■				4		-
											小計						522		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												H28	H29	H30	H31	R02											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
											合計						522										

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	21	41	3	8	8
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	21	41	3	8	8
前年度からの繰越額 (d)	0	7	37	0	8
支払済額 (e)	14	11	40	0	8
翌年度繰越額 (f)	7	37	0	8	8
うち未契約繰越額(g)	3	28	0	8	8
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	14.28	58.33	0	100	50
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	地域の交通状況を勘案した結果、規模を縮小して発注。残工区分を繰越し、別途発注したため。	他工事との調整や、地下埋設物の移設に時間を要したため。		他企業との協議及び地下埋設物の移設に時間を要したため。	他企業との協議及び地下埋設物の移設に時間を要したため。

事前評価チェックシート

計画の名称： 古都鎌倉の水環境を守る下水道整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性	
②地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
?事業効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
?円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○